



2023春闘 現場社員の「声」シリーズ④

要求実現を求める声が各地から連日寄せられる！

- ★子供が生れましたが、やはり居住地の保障は大きいと思います。祖父母の近くにいられない第2子とか共働きの時代では我慢をせざるえません。（東北）
- ★コロナ感染や体調が悪くなる人も多く、突然の休日出勤や勤務変更に対応して大変です。賃金を上げてもらわないと割に合わないです。（横浜）
- ★削られた昇給係数2相当分の3,000円は出すべきだ。東日本ユニオンのベースアップ要求額は高いとは思わない。そのぐらいもらわないと物価の高騰に追いつかない。この間、ずっとベアもないから生活が厳しい。（新潟）
- ★他社のトップが賃上げに前向きに「検討」とか「実施する」とか言っている中でJRだけが「慎重」と言ったのは、本当にショックだった。またいつもの先行き不透明という言葉を使うのかと思った。社員の生活も先行き不透明です。希望と言えば15,000円くらい上がって欲しい。会社は、なにもしてくれない。（新潟）
- ★前の職場ではボーナスは売上変動で、頑張ったら頑張っただけの成果配分があったのでやりがいはあった。今は、業務量が増えているにもかかわらず、賃金が上がらない。モチベーションの維持ができません。初任給特別措置をするなら、私たちにも一律で上げてほしいです。（長野）
- ★お客さまのご利用は回復している。コロナの第5類移行など、今後の増収が期待できる一方で物価が上昇し、生活は苦しくなっている。今後の社員の活躍のために削られた定期昇給の回復、ベースアップが必要です。（千葉）
- ★色々な物が上がるので正直、賃金は上がってほしい。自分の所属組合と要求は違うのかも知れませんが、要求の実現に向けて、お互いに頑張りましょう。（横浜）
- ★トヨタ、ホンダの満額回答が世の中の賃上げムードをより上げている。当社も賃上げしなくては、世の中から突出してしまうし、選択されない会社になってしまう。ベースアップしたとしても、少額ではダメだ。定期昇給を15,000円くらいは上げてもらわないと、物価上昇に追いつかない。（新潟）
- ★社員の責任で赤字になったわけではないのに、定期昇給を削るのは理解ができない。それどころか生産性、仕事量が増えている。これでは報われない。経営幹部も身を切っていると聞いたが、社員は毎月の「給料」「期末手当」と、この間、身を切り続けている。（長野）
- ★定期昇給の2係数が削られたままだけど、入社数年だからまだ実感はない。でもこのまま、退職までいけば、相当な額がマイナスになる。それを考えるとぞつとする。（東北）